

2:18 また、ティアテラにある教会の御使いに書き送れ。『燃える炎のような目を持ち、その足は光り輝く真鍮のような神の子が、こう言われる――。

2:19 わたしは、あなたの行い、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。また、初めの行いにまさる、近ごろの行いも知っている。

2:20 けれども、あなたには責めるべきことがある。あなたは、あの女、イゼベルをなすがままにさせている。この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて惑わし、淫らなことを行わせ、偶像に献げた物を食べさせている。

2:21 わたしは悔い改める機会を与えたが、この女は淫らな行いを悔い改めようとしない。

2:22 見よ、わたしはこの女を病の床に投げ込む。また、この女と姦淫を行う者たちも、この女の行いを離れて悔い改めないなら、大きな患難の中に投げ込む。

2:23 また、この女の子どもたちを死病で殺す。こうしてすべての教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知る。わたしは、あなたがたの行いに応じて一人ひとりに報いる。

2:24 しかし、ティアテラにいる残りの者たち、この教えを受け入れず、いわゆる「サタンの深み」を知らないあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。

2:25 ただ、あなたがたが持っているものを、わたしが行くまで、しっかり保ちなさい。

2:26 勝利を得る者、最後までわたしのわざを守る者には、諸国の民を支配する権威を与え

る。

2:27 彼は鉄の杖で彼らを牧する。土の器を砕くように。

2:28 わたしも父から支配する権威を受けたが、それと同じである。また、勝利を得る者には、わたしは明けの明星を与える。

2:29 耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。』

テアテラの教会は「愛と信仰と奉仕と忍耐」を持っていましたし、「行い」においても初めよりもまさっているということですから、すばらしい群れであり主から褒められています。

しかし、「イゼベルという女」と呼ばれる人物からの悪影響があると叱責されています。これはそのような悪を持った群れかもしれませんし、またはどの時代にも共通の悪を表わしているのかもしれない。アハブ王の妻であったイゼベルは、偶像礼拝を持ち込みましたから、そのような傾向が教会にあることに警告を与えているとも考えられます。

テアテラの教会のように、表面的にはすばらしい働きをする教会のようでも、主はその内面をご覧になります。純粋に主を慕って働きが進んでいるかどうか、大切です。私たち「ひとりひとりに報い」てくださる主ですから、周りに流されることなく、主イエスから目を離さずに歩みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

